



令和6年4月3日
佐沼明星こども園

ご入園・ご進級おめでとうございます。

園庭にある一本の桜の木がいつもの年より早く花を咲かせ、みんなの入園・進級をお祝いしています。

春の青空のようにキラキラ輝き、エネルギーに満ち溢れた子どもたちが、新しい生活へ“はじめの一步”を踏み出しました。子どもたちは新しい環境に少し緊張感みですが、喜びや期待も大きいはず。新入園児は安心して早く園生活に慣れるように、進級児は今までの園生活で身に付いたことが継続できるように環境を整え、丁寧にに関わり、信頼関係を築いていきたいと思ひます。

幼児期は生きる力の基礎をはぐくむ重要な時期。子供たちの現在のありのままを受け止め、その生命の保持と情緒の安定を図りながら関わる養護の側面と、保育者としての願いや保育の意図を込めながら子供の成長・発達を促していく教育的側面を一体的に展開しながら、毎日を過ごしていきたいと思ひます。

今年度のテーマは『挑戦』やる気十分の子どもたちに負けないよう、一緒にいろいろなことに挑戦していきたいと思ひます。一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

- 0歳児・・・まず抱こう。ひとりひとりにあった生活リズムで、機嫌良く生活する
- 1歳児・・・泣かないで登園する
- 2歳児・・・新しい環境に少しずつ慣れて、安心して生活する
- 3歳児・・・喜んで登園し、遊びを楽しもう
- 4歳児・・・進級した喜びを味わい、園生活を楽しもう
- 5歳児・・・年長になった喜びを味わい、自信をもって行動しよう



4月の仏教目標

合掌聞法 (がっしょうもんぼう) …入園・進級を喜び、園生活に親しもう

『合掌』とは、胸に両手を合わせる型から「おはようございます」「ありがとうございます」「素直になる」「心が落ち着く」「さあ、やるぞ」の気持ちになることです。大きな声でしっかりあいさつできる子は、生き生き活動する子になります。「さあ、今日はどうやって皆を楽しませようかな！」と保育園に来る子になります。

『聞法』とは、のの様の教えを聞くことです。どうしたら良い子になれるか、人生どう生きてらよいか、毎日の生活を通して勉強しますということです。この人は、この出来事は、私に何を言っているのか、何を伝えようとしているのか、全身を眼にしてよく見・よく聞き・よく考える態度を養います。聞法の習慣ができると、身近なことに関心・興味を持ち、どうなっているんだろうと命の不思議・大切さに気付く子になります。

～仏教保育とは『幼児の心』を育てる保育～

幼児の教育は、技術を身につけるような専門的教育ではなく、幼児の育つ心・人格を磨くことにあります。現代のように、いろいろなことが起こる世の中に、少しでも清らかな心を持った子どもに育ててもらいたいとの願ひをこめて、幼児の『心』を育てる努力をしているのが仏教保育です。

～仏教保育とは『幼児の心』を育てる保育～

4月の行事予定

- 3日 (水) 入園式
- 17日 (水) 完全給食
- 22日 (月) 避難訓練
- 23日 (火) 英語教室 (にじ組)
- 24日 (水) 誕生会 (完全給食)

2・3号認定児

- 慣らし保育期間
- 4日 (木) ～10日 (水)
- 11日 (木) ～普通保育開始

1号認定児

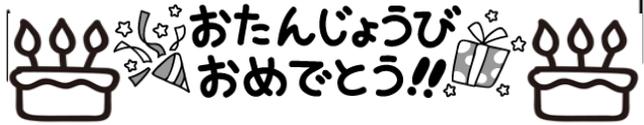
- 8日 (月) 始業式
- 慣らし保育期間
- 8日 (月) ～12日 (金)
- 15日 (月) ～普通保育開始

行事予定に変更があった場合は、掲示等でご連絡いたします。

4月生まれのおともだち

- ひなた組
- 17日
- つき組
- 11日
- かぜ組
- 3日
- 6日
- 14日
- 21日
- にじ組
- 22日
- 2日
- 20日
- 22日
- 23日
- そら組
- 6日
- 11日
- 19日

ほし組に誕生月のおともだちはいませんでした。



笑顔で『いってきます!』

朝の見送りの時に子どもが泣いていたら心配になりますよね。笑顔でお別れできるポイントは、元気に『いってきます!』をすること。荷物に準備等、同じ行動をし、さっとその場を立ち去るようにすると、子どもにも見通しがたち、気持ちが切り換えやすくなります。

家でゆつくりと・・・

4月は新しい生活の始まり。新しい保育室・新しい友達・新しい先生・新しいきまりなど、うれしさと緊張の毎日です。家でゆつくりと、お子さんの話を聞く時間を持ってください。

元気の源 朝ごはん

寝起きの体は、エネルギー不足状態。朝ごはんをとらないと、体温の低い状態が続くため元気が出なかったり、脳のエネルギーも不足するため、集中できなかったりイライラしたりしています。時間がない朝は、スムージーがおすすめ。果物・野菜・牛乳などをミキサーに掛けるだけなので、手軽に栄養をとれます。

おねがい

- 園からの願ひや、きまり等は別紙でご確認ください(継続児は配布済み)
- 駐車場は一般の方も利用します。徐行や一時停止、枠内駐車などを心掛け、マナーを守ってご利用ください。また、車から離れる際は必ず施錠し、貴重品は手元から離さないようにして下さい。
- 登降園の際は、お子さんから目を離さず、手をつないで一緒に歩くようお願いいたします。お子さんだけで駐車場に行くことのないようお願いいたします。